

第8節 スポーツ課

〔総括概要〕

スポーツ基本法の前文は「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」から始まり、「すべての国民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、またはスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」と記されている。

スポーツ基本法に基づき、本市では、社会情勢の変化、市民のスポーツ活動状況等を考慮し、令和5年3月に第2期栃木市スポーツマスタープランを策定し、「スポーツを通じて市民だれもがいきいきと元気になる栃木市の実現」を基本理念として、生涯スポーツの推進及びスポーツ環境の充実を図っている。

スポーツ課の主な分掌事務は、生涯スポーツの普及振興、生涯スポーツ関係団体の育成及び支援、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員による生涯スポーツ推進事業、プロスポーツ連携事業、栃木地域の社会体育施設（運動公園施設を除く）の整備及び管理運営、学校体育施設の開放、スポーツ振興基金の管理などのスポーツ環境充実事業である。

生涯スポーツの推進については、スポーツの普及振興のため、市内で活動するスポーツ団体やプロスポーツチームを活用した自由参加型のスポーツ体験イベント「栃木市民スポーツフェスティバル」や、初心者的小学生を対象とした各種スポーツ教室、地域巡回型のニュースポーツの体験会等を開催し、スポーツ人口の拡大に努めるとともに、スポーツ団体や近隣市町との連携による各種スポーツ大会・教室を開催し、競技力の向上や振興を図った。

プロスポーツ連携事業については、市内で活動を行う各プロスポーツ団体と締結した連携協定に基づき、小学生や園児を対象としたスポーツ教室等を開催し、青少年の育成を図るとともに、プロスポーツチームの試合や練習等を見たり、選手等と触れ合ったりすることで、市民がスポーツの楽しさを知り、スポーツを行う動機づけとなることを目的として設立された栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”を運営し、チームを広く紹介するためにリーフレットの作成等を行った。

また、全国で16自治体目、県内では唯一認定されている「女子野球タウン」事業の目的である、女子野球を通じた地域の活性化やSDGsに掲げられている「ジェンダー平等」、「住み続けられるまちづくり」を推進するため、女子野球大会の開催や合宿誘致等を行った。

さらには、サイクルスポーツによる地域づくり、活性化を目的に、わたらせサイクルパークを活用した自転車セミナーの開催や、県南サイクルルートを活用したライドイベントなどを開催した。

スポーツ環境の充実では、社会体育施設の管理運営において、身近にスポーツが楽しめる広場や様々なスポーツイベントが開催できる施設として、利用者が安全に利用できるよう、適正な維持管理を行った。

また、「栃木市スポーツ施設ストック適正化計画」の整備スケジュールに基づき、

対象となるスポーツ施設の維持管理、集約化、廃止について、各施設の所管課と情報を共有しながら計画推進を図った。

学校体育施設の開放等について、老朽化に伴う栃木東中学校の夜間照明施設の更新工事を行ったとともに、利用日程調整会議を開催し利用者間の調整を図った。

市民スポーツ係

1 生涯スポーツ推進関係

(1) 栃木市スポーツ推進審議会

学識経験者、スポーツ関係団体や社会体育団体の代表者、公募委員等10人により構成し、栃木市のスポーツ振興について審議した。

開催日	内 容	会 場
9月12日（金）	栃木市スポーツ施設ストック適正化計画の一部見直しについて	栃木市役所3階庁議室

(2) 市民スポーツ普及事業

ア 栃木市民スポーツフェスティバル2025

市民が様々なスポーツに触れ合いながら魅力や楽しみを発見することを通じて、スポーツ人口の底辺拡大等を図ることを目的に、市民の誰もが自由に参加して楽しむことのできるスポーツイベントを開催した。

- ・開催日 11月16日（日）
- ・参加者 4,000人
- ・会 場 総合運動公園

(ア) 主な催し物

a 栃木市スポーツ協会競技専門部による競技体験会

- ・実施種目 12競技（卓球、陸上、剣道、バスケットボール、弓道、テニス、ゲートボール、ソフトテニス、グラウンド・ゴルフ、レクリエーション、綱引、ターゲット・バードゴルフ）

b 栃木市スポーツ推進委員会によるニュースポーツ体験会

- ・実施種目 4競技（モルック、バブルサッカー、ボッチャ、フライングディスク）

c プロスポーツチームとの交流コーナー

- ・栃木シティフットボールクラブ（キックターゲット）
- ・栃木ゴールデンブレーブス（ストラックアウト）
- ・宇都宮ブリッツェン（ロードバイク体験）

d スタンプラリー

会場内の各コーナーをまわり、スタンプを集めた方に賞品をプレゼント

e ウォークラリー

会場内のウォークコースをまわり、設置された8つの問題を回答した方に賞品をプレゼント

f 総合型地域スポーツクラブ、スポーツクラブによるクラブの案内及び体験教室の実施

g スポーツショップによるスポーツ用品の販売

h キッチンカーによる飲食物販売

i 競技団体による競技体験会

・実施種目 1競技（ローイング）

イ “小学生向け” 初心者スポーツ教室

「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図るとともに、本市と連携協定を結ぶプロスポーツチームを指導者として活用し、プロスポーツを市民に身近に感じてもらうことで、応援機運の醸成による“みる”スポーツの推進を図ることを目的に、初心者的小学生を対象とした各種スポーツ教室を開催した。

(ア) 第1期

開催日	競技（協力プロチーム）	参加者(人)	会場
11月 2日(日)	野球（栃木ゴールデンブレース）	34	エイジェックススポーツ科学総合センター
11月30日(日)	サッカー（栃木シティフットボールクラブ）	25	CITY FOOTBALL STATION
12月13日(土)	ミニバスケットボール（宇都宮ブレックス）	35	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）

(イ) 第2期

開催日	競技（協力プロチーム）	参加者(人)	会場
2月22日(日)	サッカー（栃木シティフットボールクラブ）	19	CITY FOOTBALL STATION
2月28日(土)	野球（栃木ゴールデンブレース）	13	エイジェックススポーツ科学総合センター
3月 8日(日)	ミニバスケットボール（宇都宮ブレックス）	31	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）

ウ “小学生向け” 初心者ゴルフ教室

「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図るとともに、多くのゴルフ場を有する本市の特性を活かし、ゴルフ競技の活性化に寄与することを目的に、初心者的小学生を対象としたゴルフ教室を開催した。

・開催日 3月25日(水)

・会場 都賀カンツリー倶楽部

- ・参加者 15人

エ 小中学生スキー初心者教室

小中学生が冬の大自然に触れながらスキーを楽しむことを通じ、スポーツに親しみを持たせることで、「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図ることを目的に開催した。

- ・開催日 1月17日(土)
- ・会場 エーデルワイススキーリゾート
- ・参加者 38人

(3) スポーツ推進委員活動事業

ア ニュースポーツ巡回体験会（移動ニュースポーツ体験館）

4つのニュースポーツ「バブルサッカー」「モルック」「ボッチャ」「フライングディスク」を活用した地域巡回による自由参加型の体験会を実施し、「ニュースポーツの普及」を通じて、「スポーツに親しみを持たせることによるスポーツ人口の底辺拡大」及び「地域内交流の振興」を図ることを目的に開催した。

開催日	地域（会場）	参加者(人)
8月 2日(土)	西方（関東ホーチキにしかた体育館 （西方総合文化体育館））	19
9月28日(日)	大平（大平南体育館）	40
12月14日(日)	岩舟（岩舟中学校体育館・校庭）	33
1月18日(日)	藤岡（藤岡中学校体育館・校庭）	70
2月 1日(日)	都賀（家中小学校体育館・校庭）	31

イ 令和7年度ふるさと見に（ミニ）ウォーキング

スポーツを通じて市民だれもがいきいきと元気になる“栃木市”の実現を目指す取り組みの一環として、健康づくりと生きがいくくり、並びに「ふるさとを再発見！！」をテーマに開催を予定した。

- ・開催日 10月26日(日)
- ・会場 西方地域コース
- ・参加者 雨天のため中止

(4) 近隣市町連携事業

ア サイクルフェスタ～走ってみよう おやま・のぎ・とちぎ～2025

自転車を活用した栃木市・小山市・野木町の連携事業として、3市町の各所を自転車で巡り、自然と景観を体感していただく中で、市町の魅力を発信し、人を呼び込み交流人口の増加を目指すことを目的に開催した。

- ・開催日 11月1日(土)
- ・会場 小山総合公園→いちごの里→部屋南部桜つつみ公園→野木町煉瓦窯
→小山市立体育館→小山総合公園
- ・参加者 484人

イ 栃木・佐野ニュースポーツまつり

栃木市・佐野市の新たな連携事業として、自由参加型によるニュースポーツ体験

会を実施し、「ニュースポーツの普及」を通じて、「スポーツに親しみを持たせることによるスポーツ人口の底辺拡大」を図るとともに、両市のスポーツ関係団体を活用した連携事業として実施することで、両市の更なる連携強化・スポーツの振興を図ることを目的に開催した。

- ・開催日 5月18日(日)
- ・参加者 延べ1,015人
- ・会場 岩舟総合運動場・岩舟公民館

(ア) 主な催し物

a 栃木市スポーツ推進委員会によるニュースポーツ体験会

- ・実施種目 10種目（モルック、ボッチャ、バグギー、輪投げ、ディスクゴルフ、タグラグビー、ストラックアウト、カラーリング、スマイルボウリング、ターゲット・バードゴルフ）

b 佐野市スポーツ団体によるニュースポーツ体験会

- ・実施種目 3種目（グラウンド・ゴルフ、クリケット、スカイクロス）

c キッチンカーによる飲食物販売

ウ 第69回東武日光沿線三市親善剣道大会

東武日光沿線三市（栃木市・鹿沼市・日光市）における剣道愛好者の親睦を図り、剣道の普及・発展に資することを目的に開催した。

- ・開催日 11月30日(日)
- ・会場 藤岡総合体育館
- ・参加者 74人

(5) 近隣市町連携事業（栃木市スポーツ協会共催）

開催日	事業名	参加者(人)	会場
6月29日(日) 7月6日(日)	第79回県南五市対抗親善総合競技大会	194	栃木市・小山市
10月12日(日) 19日(日) 26日(日)	令和7年度栃木県民スポーツ大会	234	県総合運動公園他
1月25日(日)	第67回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会	31	宇都宮市⇄栃木市
2月16日(月)	第73回県南四市対抗親善スキー大会	16	エーデルワイススキーリゾート

(6) 各種スポーツ大会開催事業

開催日	事業名	参加者(人)	会場
5月19日(月)	第46回栃木市ゲートボール大会	41	アルレクスパークとちぎ (屋内運動場)
5月11日(日) ～7月6日(日)	第15回栃木市夏季学童軟式野球大会	260	総合運動公園
6月29日(日)	第13回栃木市民陸上大会	300	
7月20日(日) 21日(月)	栃木市長杯第70回栃木市学童フットベース ボール大会	91	

9月 7日(日)	第43回栃木市民水泳大会	100	マルワ・アリーナとちぎ (総合運動公園総合体育館)
2月11日(水)	第70回とちぎ駅伝競走大会	257	
2月21日(土) 22日(日)	第47回栃木市小・中学校ハンドボール大会	151	

(7) 栃木市スポーツ協会事業

開 催 日	行 事 名	参加者(人)	会 場
9月21日(日)	第7回第1支部運動会	150	栃木中央小
9月28日(日)	大宮地区体育祭	800	大宮運動広場
10月 5日(日)	令和7年度国府地区民スポーツフェスティバル	300	大塚運動広場
10月 5日(日)	2025年度都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバル	384	つがスポーツ公園
10月 5日(日)	第1回吹上地区スポーツレクリエーション大会	200	吹上公民館
10月 5日(日)	第33回岩舟地区体育祭	800	CITY FOOTBALL STATION サブグラウンド
10月 5日(日)	第7支部(柳橋町)体育大会	420	栃木中央小
10月12日(日)	ふる里大平スポーツフェスタ2025	1,972	大平運動公園
10月19日(日)	にしかたニューススポーツフェス!	400	関東ホーチキにしかた体育館 (西方総合文化体育館)
10月26日(日)	第2支部体育祭	80	栃木中央小
11月29日(土)	ミニスポーツフェスティバル(第3支部)	300	南小

(8) 栃木市スポーツ少年団関係

ア 事業報告

開 催 日	事 業 名	参加団数	場 所
4月 5日(土)	第11回栃木市スポーツ少年団軟式野球交流大会	9	総合運動公園
5月11日(日)	第14回栃木市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会	4	マルワ・アリーナとちぎ (総合運動公園総合体育館)
7月24日(木)	栃木市スポーツ少年団総会	24	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)

イ 登録人数表

種 目	団 数	指導者数 (人)	スタッフ数 (人)	団 員 数 (人)
バレーボール	1	4	0	10
剣道	1	2	1	50
空手道	1	3	1	10
柔道	1	2	1	8
野球	9	24	21	162

ミニバスケットボール	4	14	3	74
陸上	1	2	0	10
少林寺拳法	1	2	1	8
合 計	19	53	28	332

(9) スポーツ大会出場者激励金等給付事業費

本市のスポーツの競技力・指導力の向上を図るため、スポーツ大会（全国大会、国際大会等）に出場する市内在住の選手・市内に所在する団体に対し、激励金等を給付し、大会での活躍を支援した。

・給付実績

激励金	個人	全国大会 (選手1人につき1万円)	46人	460,000円
		アジア大会 (選手1人につき2万円)	-	-
		世界大会 (選手1人につき3万円)	1人	30,000円
	個人（市外団体の 構成員）	全国大会 (選手1人につき5千円)	57人	285,000円
		アジア大会 (選手1人につき1万円)	-	-
		世界大会 (選手1人につき2万円)	1人	20,000円
	団体	全国大会 (1団体につき上限5万円)	19団	920,000円
		アジア大会 (1団体につき上限10万円)	-	-
		世界大会 (1団体につき上限15万円)	-	-
報奨金 (アジア大会 又は世界大会 を伴わない全 国大会で優勝 又は準優勝し たもの)	個人 (選手1人につき 2万円)	優勝	1人	20,000円
		準優勝	-	-
	個人（市外団体の 構成員） (選手1人につき 1万円)	優勝	12人	120,000円
		準優勝	3人	30,000円
	団体 (1団体につき 上限10万円)	優勝	1人	100,000円
		準優勝	1人	100,000円

プロスポーツ連携係

1 プロスポーツ連携関係

(1) 各プロ及びプロに準じるスポーツ団体との連携

市内で活動を行う栃木シティフットボールクラブ、栃木ゴールデンブレース（エイジェック硬式野球部、エイジェック硬式女子野球部を含む）、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスとの連携協定に基づき、連携事業の推進を図った。

ア 4団体共通

試合情報や結果について、栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”アカウントによるSNS上での情報発信や、市広報紙へのチーム紹介記事の掲載を行った。

イ 栃木シティフットボールクラブ関係

- ・応援機運を醸成するため、栃木市で開催されるホームゲームの情報について、市ホームページ等に掲載することで、市民への「みるスポーツ」の推進を図った。
- ・J3で優勝し、J2昇格が決まった際には、優勝と昇格を祝うため、栃木駅の改札や公共施設に横断幕を掲出し、広く市民に周知を図った。

ウ 栃木ゴールデンブレース関係

栃木市で開催されたホームゲームにおいて、栃木市民デーを設定し市民等の無料入場を実施することで、市民への「みるスポーツ」の推進を図った。

エ 宇都宮ブリッツェン関係

藤岡渡良瀬運動公園内の、わたらせサイクルパークを活用したイベント等の開催業務を宇都宮ブリッツェンの運営会社であるサイクルスポーツマネジメント株式会社に委託し、各種自転車イベントの開催や講座を実施することで、広くサイクルスポーツの振興に努めた。

(2) 栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”関係

プロスポーツチームのスポンサーやファンクラブ等の既存の応援形態とは別に、市民が気軽に負担なくチームを応援することを目的に栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”を運営した。

ア Strawberry Hearts 会員

市が連携協定を締結している栃木シティFC、栃木ゴールデンブレース、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスの4チームを応援する。

- ・年会費 無料
- ・特典 各チームに関するイベント案内やグッズが当たる抽選会への参加
- ・会員数 4,194名

イ 作成物

4チームを広く紹介するためのリーフレットを作成し、試合やイベントにおいて来場者に配布した他、市内転入者にリーフレットを配付し、広く周知に努めた。

(3) エイジェックスポーツ科学総合センターを活用したセミナー等事業

エイジェックグループとの連携協定における施設の相互利用、及び市民の健康増進

に関する事項に基づき、市民に対する「運動と健康・栄養」の意識啓発や、市民の健康増進及び青少年育成を推進することを目的に事業を実施した。

ア ～科学が導く、新時代の健康づくり～夏休み！親子で「科学」×「運動」測定会
令和7年8月23日（土）、24日（日） 全4回 35組73名参加

イ スポーツ科学で学ぶ！eスポーツ体験会
令和7年11月22日（土） 全2回 8組16名参加

(4) プロスポーツチーム等による地域貢献事業

ア 栃木シティフットボールクラブ（市内小学校）
学校訪問及びホームスタジアム“CITY FOOTBALL STATION”の見学 5件

イ 栃木ゴールデンブレーブス（市内保育園）
エイジェックススポーツ科学総合センターでの軽運動 1件

ウ 宇都宮ブレックス（市内保育園）
保育園でのブレクシー及びブレッキータンゴによるダンス教室等 1件

エ エイジェック女子硬式野球部（市内保育園）
エイジェックススポーツ科学総合センター及び園での軽運動 2件

2 女子野球関係

(1) 栃木市杯とちぎさくらカップ（女子野球大会）関係

女子野球の普及と大会開催による地域活性化を目指し、栃木市と株式会社エイジェックススポーツマネジメントにより組織した実行委員会主催による女子野球大会を開催した。

部門	開催日	参加人数・チーム
小学の部	10月26日（日）	11名
中学の部	9月13日（土）から 9月14日（日）	15チーム
高校の部	11月 1日（土）から11月 2日（日）	16チーム
フリーの部	3月22日（土）から 3月23日（日）	15チーム

(2) 女子野球タウン関係

令和2年から実施してきたとちぎさくらカップの実績等が一般社団法人全日本女子野球連盟に認められ、本市が「女子野球タウン」として令和6年に認定された。認定と併せ、連盟と締結した協定の事業の目的である、女子野球を通じた地域の活性化やSDGsに掲げられている「ジェンダー平等」、「住み続けられるまちづくり」を推進するため事業を実施した。

ア ヴィーナスリーグ公式戦誘致事業

関東女子硬式野球連盟主催による女子野球界で世界最大規模のリーグ戦「ヴィーナスリーグ」の誘致を行い、9月6日と7日の2日間、エイジェックさくら球場において8試合を開催した。本市と連携協定を締結するエイジェックグループの女子硬式野球部や國學院大學栃木高等学校女子硬式野球部も出場した。

イ 侍ジャパン女子日本代表及びオーストラリアエリートチーム合宿地誘致事業
9月に侍ジャパン女子日本代表の強化合宿およびオーストラリアエリートチーム

に合宿を誘致した。オーストラリアエリートチームはエイジェックさくら球場での試合や練習のほか、学校訪問や工場見学、市内観光も実施した。合宿後半には、両チームが対戦する強化試合を実施し、球場には多くの観衆が詰めかけた。

ウ 第27回全国高等学校女子硬式野球選抜大会誘致事業

全国高等学校女子硬式野球選抜大会の市内開催を誘致し、3月20日から23日の4日間、エイジェックさくら球場で11試合を開催した。キッチンカーの出店や地元商工会と連携し、本市の特産でもあるいちごを販売するなど、地域活性化を図る取り組みとなった。

3 サイクルスポーツ関係

(1) わたらせサイクルパークを活用したイベント等

わたらせサイクルパークを活用したイベント等業務をサイクルスポーツマネージメント株式会社に委託し、渡良瀬遊水地ライドや太平山ヒルクライムライド、ジュニア用ロードバイク体験教室等を開催した。

・イベント等開催数 13回

(2) 全日本選手権大会の誘致

公益財団法人日本自転車競技連盟が主催する第28回全日本選手権個人タイムトライアルロードレース大会及び2025全日本パラサイクリング選手権ロード大会を誘致し、6月29日、渡良瀬遊水地で開催した。

(3) ジュニア用ロードバイク及びキックバイクの購入

サイクルスポーツによる青少年育成を推進するため、ジュニア用ロードバイク5台とキックバイク5台を購入し、体験教室開催の際に使用した。

(4) 自転車の駅

ロードバイクやその他自転車で栃木市を訪れる方が、市内を快適に走行でき、また、市の物産・特産、グルメやアクティビティのPRにつなげることを目的に、サイクルスポット「自転車の駅」として協力いただける店舗や施設を募集し、令和7年度において10件登録した。

スポーツ施設係

1 社会体育施設

(1) 施設の種類

施設名	建設年	面積 (㎡)		備考
		敷地	建物	
剣道場	明治44年	437.25	163.70	木造瓦葺平屋
弓道場	昭和28年	102.47	76.00	木造垂鉛葺平屋
皆川東宮運動場	昭和46年	14,889.23	-	
柳原河川敷運動場	昭和52年	12,608.00	3.25	簡易水洗式トイレ

尻内河川敷運動場	昭和54年	5,950.00	9.91	木造平屋トイレ
大塚運動広場	平成2年	15,942.90	27.30	木造平屋トイレ
大宮運動広場	平成5年	15,257.00	21.00	木造平屋トイレ
城内ニュースポーツ広場	平成18年	12,648.00	-	
アルレクスパークとちぎ (屋内運動場)	平成4年	3,724.23	1,062.80	鉄骨造鋼板葺平屋

(2) 利用状況 (単位:人)

施設 \ 利用人数	合計
剣道場	0
弓道場	0
柳原河川敷運動場	7,020
皆川東宮運動場	3,200
大塚運動広場	13,850
大宮運動広場	14,484
城内ニュースポーツ広場	10,720
アルレクスパークとちぎ (屋内運動場)	9,292
合 計	58,566

※剣道場及び弓道場は、耐震性の理由により令和5年9月11日(月)から利用休止

2 学校体育施設開放関係

利用状況

(1) 学校体育施設(運動場) (単位:人)

施設 \ 利用人数	合計
栃木中央小	3,417
栃木第三小	4,650
栃木第四小	2,100
栃木第五小	1,406
南 小	6,146
大宮南小	0
大宮北小	2,720
皆川城東小	4,751
吹上小	2,328
千 塚 小	3,016
寺 尾 小	431

国府南小	480
国府北小	3,354
合 計	34,799

(2) 学校体育施設(体育館) (単位:人)

施設 \ 利用人数	合計
栃木中央小	11,380
栃木第三小	8,580
栃木第四小	9,867
栃木第五小	4,886
南 小	6,090
大宮南小	4,040
大宮北小	1,059
皆川城東小	7,462
吹 上 小	8,013
千 塚 小	9,768
寺 尾 小	4,200
国府南小	3,759
国府北小	4,660
栃木東中	1,616
栃木西中	3,711
栃木南中	2,174
東 陽 中	3,001
皆 川 中	13,242
吹 上 中	2,946
寺 尾 中	5,921
合 計	116,375

(3) 学校体育施設(武道場) (単位:人)

施設 \ 利用人数	合計
栃木東中 (※)	4,060
栃木西中	3,888
合 計	7,948

(※) 栃木市剣道場の代替施設として利用

(4) 学校体育施設(夜間照明)

(単位:人)

施設 \ 利用人数	合計
栃木中央小	351
栃木第三小	1,560
栃木第五小	2,248
南 小	10,602
皆川城東小	542
栃木東中	1,444
東 陽 中	2,061
吹 上 中	118
寺 尾 中	107
栃木商業高校	340
栃木高校	4,940
合 計	24,313